

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績		
【法人名】 公益財団法人 埼玉県暴力追放・薬物乱用 防止センター	目標	暴力追放・薬物乱用防止の普及啓発キャンペーン 【令和2年度】 6回以上 【令和3年度】 6回以上 【令和4年度】 6回以上	賛助会員の獲得 【令和2年度】 550団体(個人)以上 【令和3年度】 550団体(個人)以上 【令和4年度】 550団体(個人)以上	電光掲示板等を活用した広報活動等 【令和2年度】 25件以上 【令和3年度】 25件以上 【令和4年度】 25件以上
	各年度の実績	【令和2年度実績】 3回実施 【令和3年度実績】 6回実施	【令和2年度実績】 536団体(個人)獲得 【令和3年度実績】 515団体(個人)獲得	【令和2年度実績】 26件実施 【令和3年度実績】 29件実施
	法人による自己評価	令和3年度は、地域及び職域における暴力排除活動の活発化及び暴力追放・薬物乱用防止に関する県民の意識高揚を図ることを目的に、公営競技場や関係機関・団体等と連携し、暴力追放キャンペーンを5回、薬物乱用防止キャンペーンを1回実施し、目標の6回を達成した。 引き続き、感染症対策を十分にとったうえで、コロナ禍でも開催されている公営競技場を含むキャンペーン企画を実施してまいりたい。	令和3年度は新規賛助会員を17団体(個人)獲得した。しかし、コロナ禍の経済情勢等から退会する会員も多く、前年度比マイナス26団体(個人)の515団体(個人)であり、目標を達成することはできなかった。 賛助会員の獲得は、暴力排除、薬物乱用防止の機運を高めるうえで欠かせないものであることから、今後もあらゆる業務活動の機会を通じて、関係機関・団体及び企業等に対し、センター業務の理解を深める活動を推進し、新たな賛助会員の獲得に努めてまいりたい。	広報活動等は、センターの設立趣旨である暴力及び薬物乱用のない安全で平穏なまちづくりを目的に実施しているもので、令和3年度は29件実施し、目標の25件を達成することができた。 その内容は、前年度に引き続き、公営競技施設等の電光掲示板をはじめ、ポスター掲示やホームページ等を活用するなど従来の広報媒体を活用したほか、啓発品(クリスタルマグネット、エコバック)を作製し会員や関係団体等に配布、テレビや新聞さらには県内FMラジオ局等マスコミを活用した広報等を積極的に実施した。 業務活動を効率的かつ効果的に推進する上で広報活動は必要不可欠であることから、今後も、費用対効果を踏まえながら、より多くの広報媒体を活用した効果的な広報活動を推進してまいりたい。
【中期経営計画の期間】 令和2年度～令和4年度				